

宮坂建設工業が測量技術講習会

# G N S S 測量の基礎学ぶ

120人参加し研鑽深める

【帯広】宮坂建設工業(帯広、宮坂寿文社長)



は三、四日の二日間にあたり、帯広経済センタービルでG N S S測量技術講習会を開催した。社員や協力会社社員ら百二十人が出席。学校法人常松学園札幌

我々が携わる建設業界も同じ。我が社でも現場で情報化施工を実施しているが、今後世の中の流れに合わせて、デジタルを取り入れていくことが必要。きょうは

工科専門学校講師がGPSやG N S S測量の基礎について講話した。写真は、はじめに宮坂社長があいさつ。二世の中は日進月歩の早さで進んでおり、

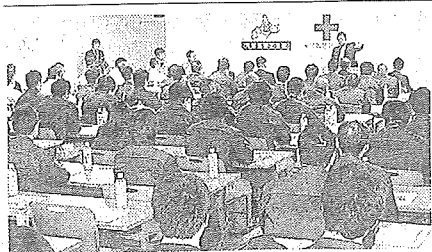
GPSやG N S S測量の基礎をしっかりと学んでほしい」と呼びかけた。また、札幌工科専門学校常松哲理事長もあいさつ

し、「GPSなどの先端技術の基礎について研鑽してほしい」と話した。講習会では、札幌工科専門学校の阿部峰雄講師と二

口唯正講師が講義。三日は帯広経済センタービルでG N S Sの基礎、干渉即位測定方式などについての説明を受け、続く四日には同社

の駐車場など屋外でRTK法の実習などを行った。社員らは情報化施工に必要なGPSやG N S S測量について研鑽を深めた。

## 北海道建設新聞 2013年(平成25年)4月5日(金曜日)



### G N S S 測量のノウハウ習得

宮坂建設工業 社内研修会

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広、宮坂寿文社長)は3、4日の二日間、G N S S(衛星測位

システム)を活用するための測量技術研修会を市内で開いた。同社などから120人が参加し、情報化施工などで必要とされるG N S Sの基礎を学んだ。写真は、

G N S S測量のノウハウを習得するために開催。札幌工科専門学校から招いた講師が座学と実習でG N S S測量の原理や特徴、用語を説明。測量作業の流れを紹介した。実習で観測時の注意点を確認。G N S Sの観測結果と巻き尺による距離測定を比較するなどして、実務で活用できるように、講師への質問を交えながら学んだ。